

山桜

H30.11.28
11月号

職場体験学習

13日(火)～15日(木)の3日間、2年生が職場体験学習を行いました。国富町の6つの事業所に分かれて、それぞれの職場で活動する様子は例年と同じ風景です。しかし、今年は、その内容を少し変えました。一つは、生徒が事業所を選ぶ体験型から問題解決型で



ピジョンフラワー宮崎



吉野土木



岡本左官



長友工務店



歩華嶽八丁坂

お菓子の秋月



実施したこと。もう一つは、各事業所から「課題」を出していただき、その回答を事業所の方にプレゼンするというものです。文化発表会で中間発表を行ったこともあり、子どもたちは自信を持って臨むことができました。

芋の収穫・農業施設訪問



1年生が芋の収穫を5日に行いました。5種類それぞれ収穫できましたが、イノシシ等の被害がありながらある程度の収穫がありました。農業施設見学後(14日)に収穫した芋を使ってスイートポテト

づくりを行いました。施設見学では、せんぎり大根集荷施設と県総合農業試験場を見学してきました。丁寧な説明をいただき、生徒



たちは興味深くメモを取っていました。職員の方の計らいで、冷蔵庫の中やビニルハウスの中へも入らせていただきました。

生活習慣病予防健康講話



21日、健康的な生活を実践していくため、県健康づくり協会の池田ひとみさんに講話をしていただきました。睡眠や食事について考えることができた時間でした。

みやざきシエイクアウト

1日、みやざきシエイクアウト(県民一斉防災行動訓練)に参加しました。10時の合図で、訓練用のアラームを鳴らし、全員が避難の態勢をとりました。



中学生講演会

5つの誓い[®]

ドリー夢メーカーと共に命を喜ばせる



20日の中学生講演会は、越塚勇人氏による「命の授業」でした。氏はもともと中学校の体育教師。趣味のスキーで首から下が動かなくなる大きな事故に遭うも、懸命なりハビリにより、奇跡的に回復されたという方です。国富町の中学生が全員集まった講演会でしたが、1時間30分、会場の全員が最後までその話に聴き入りました。講演の中に頻りに出でてきた言葉が「ドリー夢メーカー」と「5つの誓い」でした。



「ドリー夢メーカー」とは、自分の可能性を信じ夢を実現しようとする人、誰かの夢を知り応援しようとする人、誰かのありのままの存在を認め、思いやり、寄り添って生きる人のことです。氏は自分の中にいるドリー夢メーカーと共に生きてほしいと訴えました。また、命の喜ぶ生き方をするための約束「5つの誓い」を自分で決めて、実行しているとのことでした。

次が、その「5つの誓い」です。

- ①口は人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう。
- ②目は人の良いところを見るために使おう。
- ③耳は人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう。
- ④手足は人を助けるために使おう。
- ⑤心は人の痛みが分かるために使おう。

最後に、生徒全員に祝題が出されました。それは「自分の命を喜ばす行動を一つ」「仲間・家族の命を喜ばす行動を一つ」考えてきなさい、というものです。生徒たちがどんな答えを導き出したのか確認していませんが、一人一人の行動につながっていくものと信じています。

- 3日…あいさつ運動
- 4日…3年実力テスト、容儀点検
- 5日…3年実力テスト、人権教育研修
- 6日…弁当の日、自転車点検
- 7日…参観日(⑤学校保健委員会)
- 11日…大清掃
- 12日…リフレッシュデー、専門委員会
- 14日…2年本庄高校総合学科発表
- 見学
- 21日…終業の日、リフレッシュデー
- 25日…冬季休業(～1月6日)

12月の予定

子育てアドバイス!

◎「いい親」は、子どもに「ルール」を教える【簡単な「家訓」をつくる】

●家訓＝家庭の決まり事



- ・ウソをつかない
- ・約束は守る
- ・朝起きたら、元気な声で「おはよう」と言う
- ・悪いことをしたら「ごめんなさい」と誤る
- ・六時までには家に帰る
- ・自分の部屋は自分で片づける
- ・怒られても、ふてくされた顔をしない

要するに「当たり前のこと」です。子どもに守らせるなら、親も厳格にルールを守る必要があります。信用第一ですね。